



駆け抜けよう ゴールめざして！

楽しもう ころろ合わせて！

部長 松本 安博

先週6年生と一緒に掛けた修学旅行の車窓からは、田植えが済んだ美しい幾何学模様の田圃があちらこちらで見られました。また、ピチプチ！ピチプチ！さえずりながら、巣作りを始めようとしているツバメにも出会いました。春から初夏へ、初夏から夏へと季節が移り変わろうとしているのを感じます。

「運動会」まであと2週間となりました。遊び時間が、子どもたちの自発的な応援練習で日増しに賑やかになっています。中心となっているのは、5年生と6年生から選出された応援団の子どもたちです。今年も応援団長の後ろに威勢のいい応援団、そして、その周りを大勢の子どもたちが取り囲んで大声を張りあげています。可愛い1年生も加わっています。赤組からは「太陽の色は何色だ？」、「赤！」、一方の白組からは「雲の色は何色だ？」、「白！」と力を込めて叫んでいます。既に赤組と白組の競い合いは始まっているようです。

今年の運動会の全体テーマは、次のように決まりました。

汗は情熱

涙は栄光の光

努力はきずなの花束

各クラスから出されたテーマは、どれも運動会への熱い思いが込められていました。特に、選定の最後まで残った3つのテーマは、甲乙つけがたいものがありました。それだからでしょうか、赤組と白組の応援団長がその3つのテーマを持って私のもとを訪れてくれました。そして、話を聞くと、なんとこの中から私に「今年の全体テーマを1つ選んでほしい。」とのことでした。

正直、私は困りました。「えっ、先生が最後の1つを決めるの。」、「弱ったなあ。」。困り顔の私を見て、「決めてください。」との力付けの言葉。そして、私がどれを選ぶか、私が発する最初の1音を待っているのが分かりました。

私は、いつも温かい言葉や気持ちで接してくれる子どもたちの申し出は、たいへんうれしかったのですが、「来年は自分たちの話し合いで最後まで決めてほしい。」ことを伝えました。さらに、最後に残った3つのテーマをみんなに示して、応援団と代表委員が手を上げる方法や初等部全体で投票する方法など、いくつかの決め方、絞り方を話しました。私の気持ちを来年度の応援団や代表委員に引き継いでいってくれることを願うばかりです。因みに全体テーマの選定にもれたテーマは、各クラスの運動会テーマになるとのことでした。素晴らしい考え方だと思います。

過日、私は下校時に立ち寄ってくれた赤組と白組の応援団長に、応援団が力を合わせて「正々堂々と、優勝目指して最後まで全力で競い合ってほしい。」こと、「失敗した人がいたとしたら、それを非難するのではなく、励まし誰ひとりとしていやな思いを残すことのない運動会にしてほしい。」ことを伝えました。私と握手を交わして部長室を出ていく二人の応援団長の後ろ姿が、とても頼もしく見えました。きっとたがいの健闘を祈り、ノーサイドまで力を尽くしてくれることと思います。

子どもたちの心は、いつも瑞々しく繊細で弾んでいます。子どもたち一人ひとりの成長の姿を見ることは、私たちのこの上ない喜びです。

保護者の皆様の温かい拍手と励ましの声援で、一層楽しい運動会になることを願っています。

